

平成 30 年度
草津市のまちづくりについての
市民意識調査結果報告書

草津市

目 次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者属性	2
①性別	
②年齢	
③居住年数	
④転入歴	
⑤居住地区	
(2) 基本方針別にみる満足度評価	5
①「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤「行財政マネジメント」のための基本方針	
(3) 基本方針別にみる重要度評価	10
①「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤「行財政マネジメント」のための基本方針	
(4) 基本方針別にみる満足度と重要度	15
①「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤「行財政マネジメント」のための基本方針	
(5) まちの住み心地や日常の生活行動など	20
①まちの住み心地など	
②日常の生活行動など	
③市民であることの誇りや定住意向	
(6) 草津市のイメージ	24
①都市イメージ	
②地域資源	

1. 調査概要

【調査目的】

平成 29 年度から開始した第 5 次草津市総合計画第 3 期基本計画における、市の取組に対する市民意識を確認し、市政運営の参考とすることを目的とする。

【調査対象者】

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳の 18 歳以上の者から、年齢、居住地域の 2 段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日：平成 31 年 1 月 1 日（水）

【調査方法】

調査は無記名とし、平成 31 年 2 月 1 日（金）から 2 月 18 日（月）を調査期間として、郵送およびインターネットにより実施した。

【回収状況】

有効回答数 959 件、有効回答率 32.0%を得た。有効回答のうち、紙の調査票による回答が 769 件で 80.2%、ネットによる回答が 190 件で 19.8%であった。

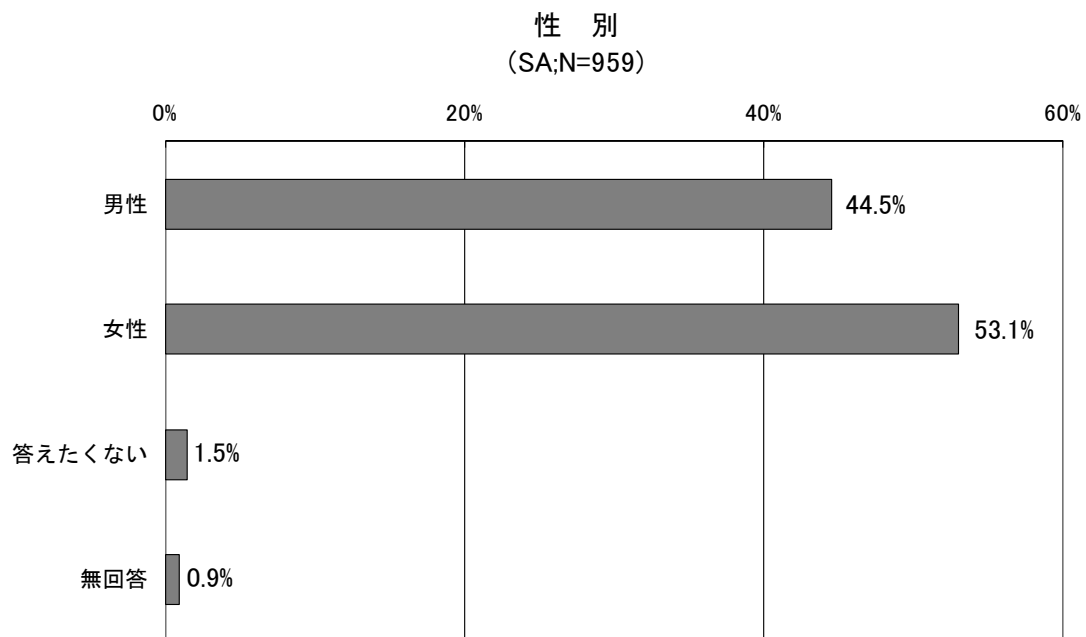
調査結果の表記について：百分率については、調査の有効回答（N）を基数として算出している。小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも 100.0%にならない。また、グラフ内に示した記号のうち SA は単数回答、MA は複数回答を示す。

2. 調査結果

(1) 回答者属性

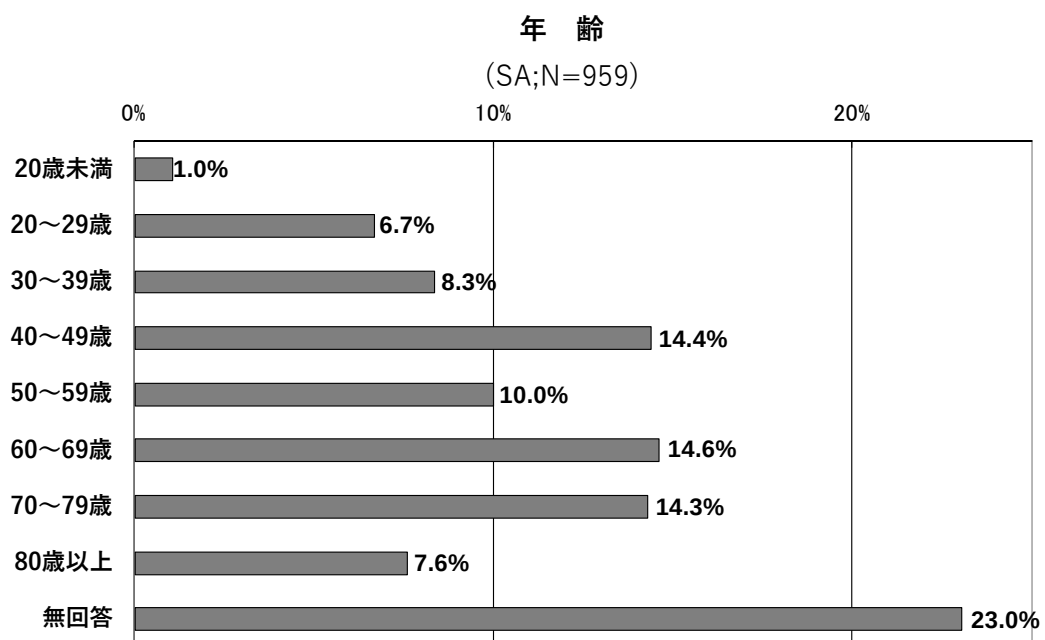
①性別

「男性」が44.5%、「女性」が53.1%、「答えたくない」が1.5%となっています。



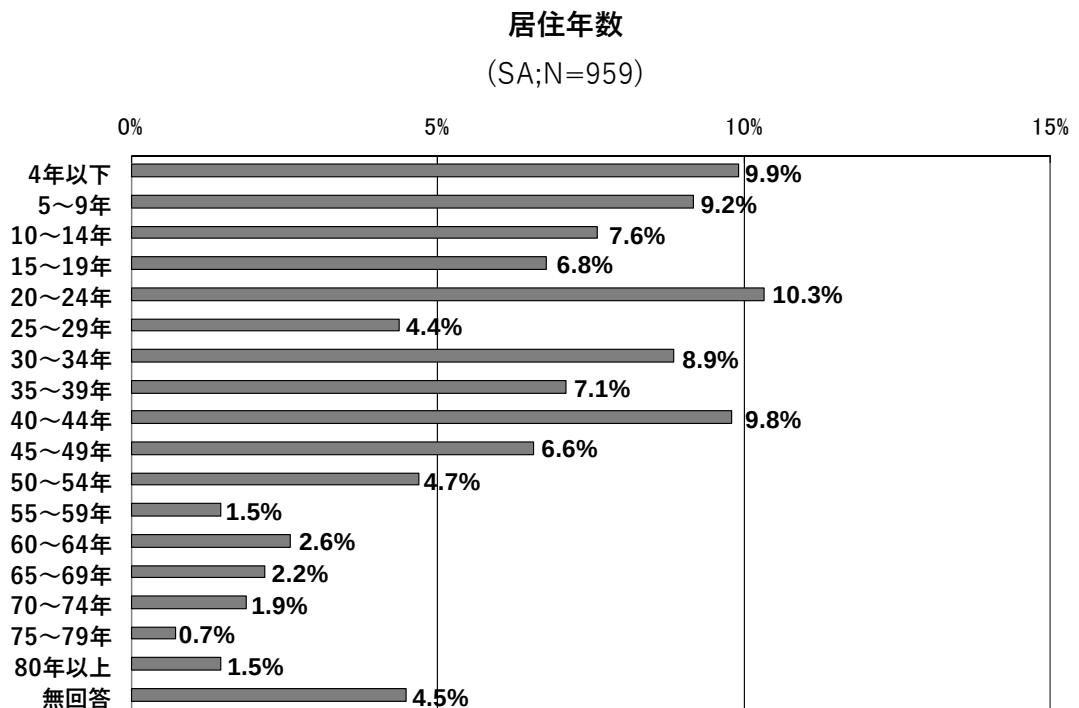
②年齢

「60～69歳」が最も多く14.6%、次いで「40～49歳」が14.4%、「70～79歳」が14.3%などとなっています。



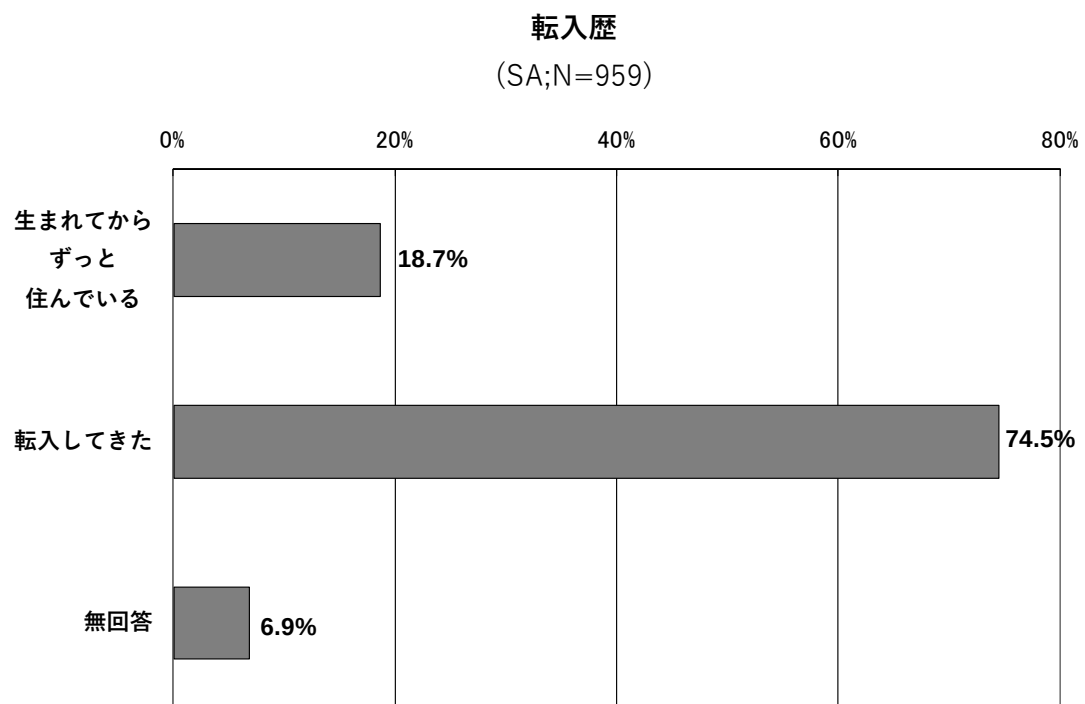
③居住年数

「20～24年」が最も多く10.3%、次いで「4年以下」が9.9%、「40～44年」が9.8%、「5～9年」が9.2%などとなっています。



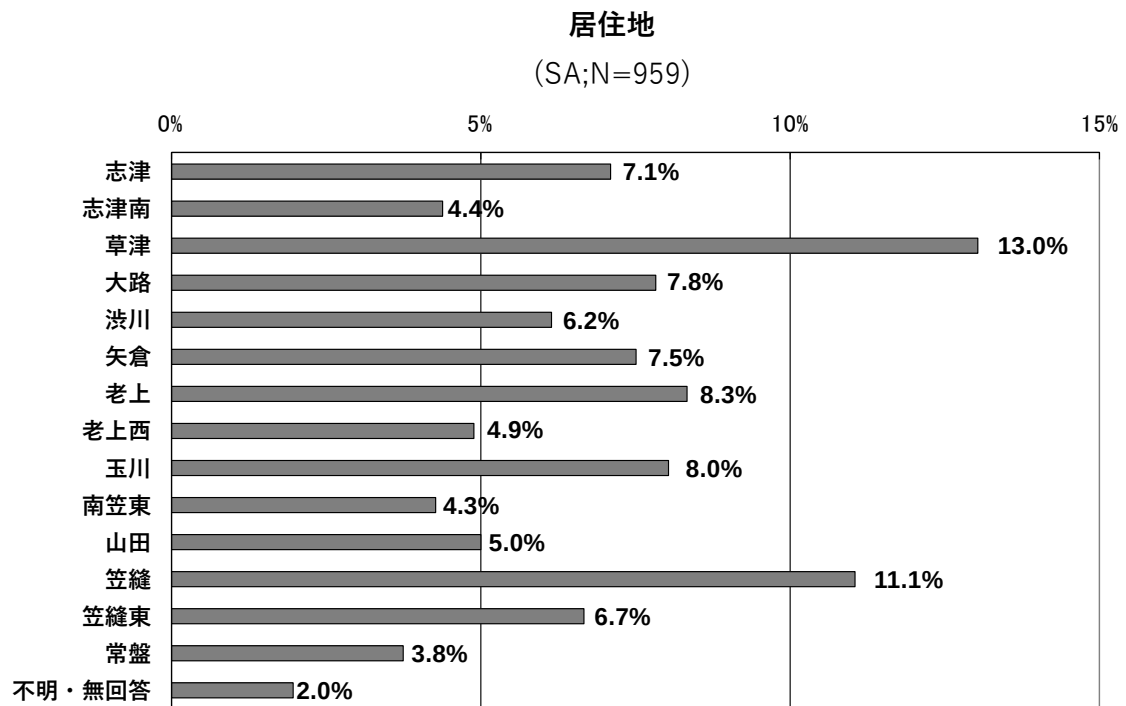
④転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が18.7%、「転入してきた」が74.5%となっています。



⑤居住地区

「草津」が最も多く 13.0%、次いで「笠縫」が 11.1%、「老上」が 8.3%、「玉川」が 8.0%などとなっています。



(2) 基本方針別にみる満足度評価

①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「満足」は「人権の尊重」が最も多く 10.8%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 8.2%などとなっています。

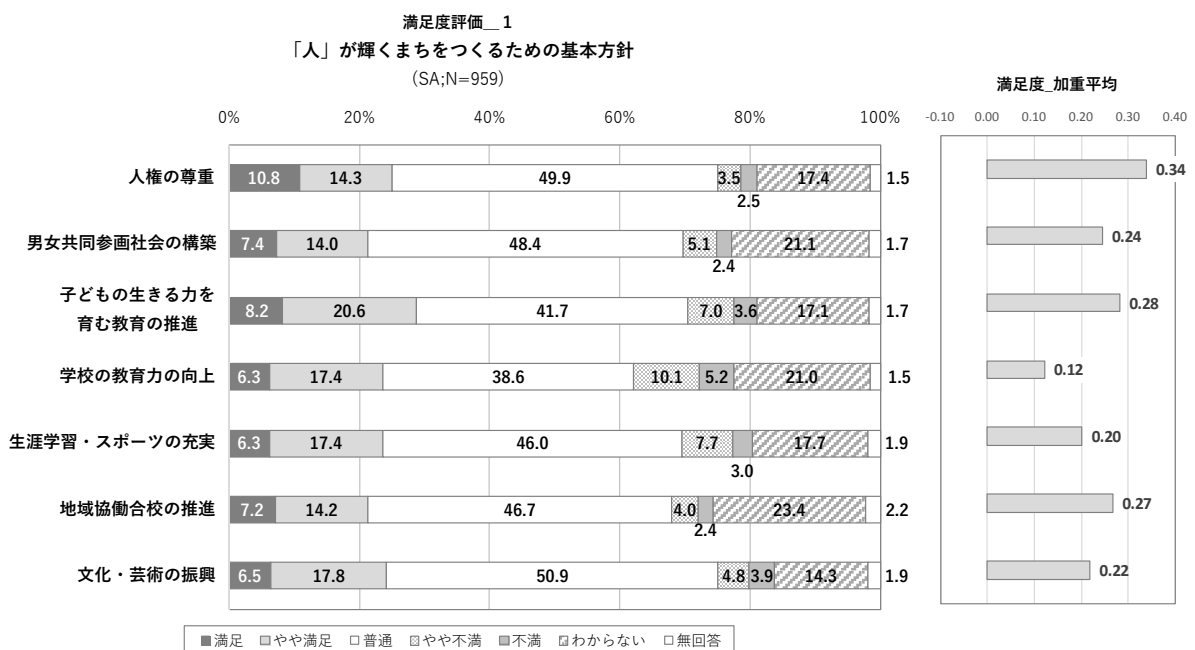
「やや満足」は「子どもの生きる力を育む教育の推進」が最も多く 20.6%、次いで「文化・芸術の振興」が 17.8%などとなっています。

「普通」は「文化・芸術の振興」が最も多く 50.9%、次いで「人権の尊重」が 49.9%などとなっています。

「やや不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 10.1%、次いで「生涯学習・スポーツの充実」が 7.7%などとなっています。

「不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 5.2%、次いで「文化・芸術の振興」が 3.9%などとなっています。

「わからない」は「地域協働学校の推進」が最も多く 23.4%、次いで「男女共同参画社会の構築」が 21.1%などとなっています。



加重平均について：「満足 (2)」「やや満足 (1)」「普通 (0)」「やや不満 (-1)」「不満 (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「満足」は「医療保険制度の適正運用」が最も多く 10.4%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」が 9.8%などとなっています。

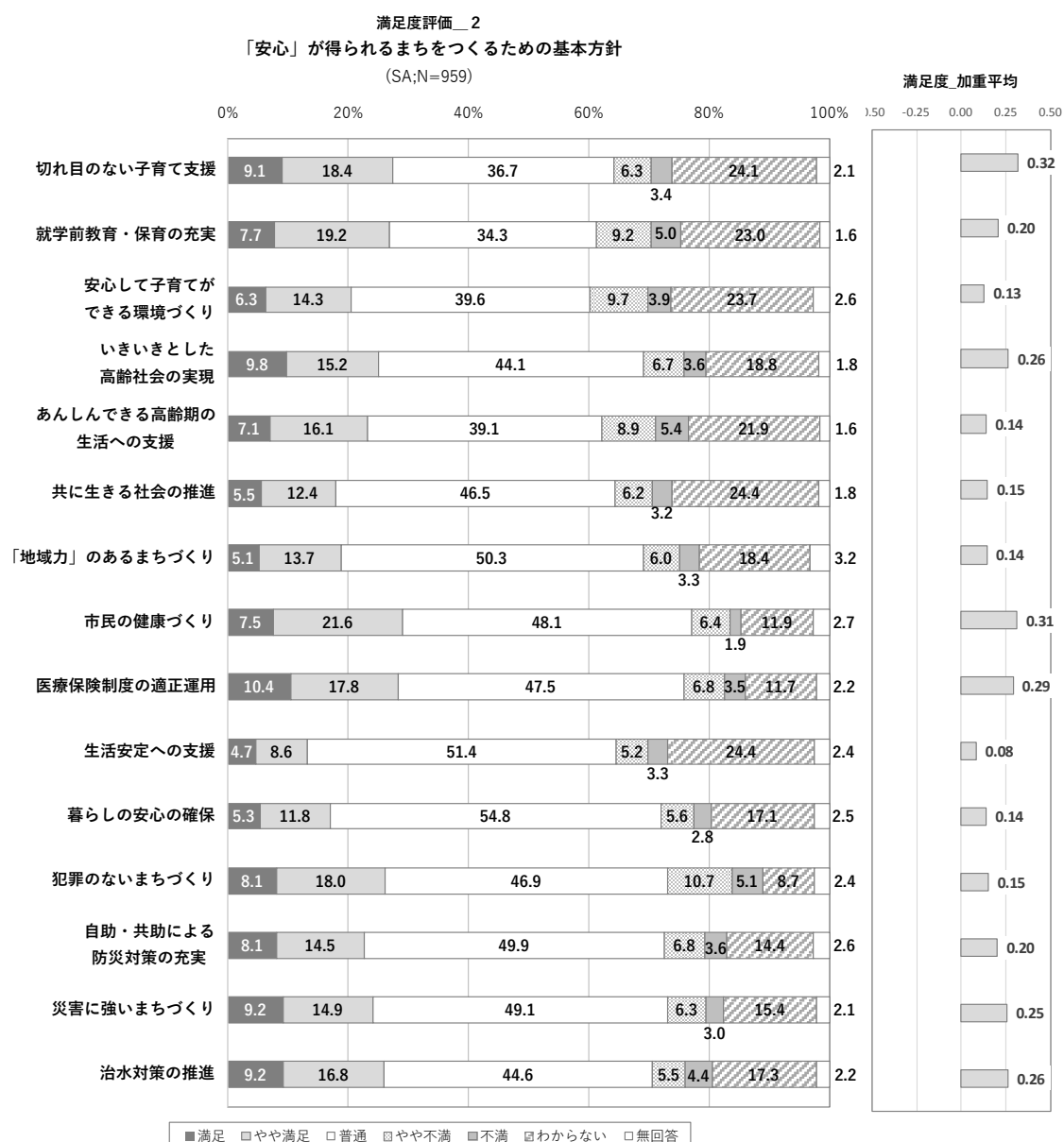
「やや満足」は「市民の健康づくり」が最も多く 21.6%、次いで「就学前教育・保育の充実」が 19.2%などとなっています。

「普通」は「暮らしの安心の確保」が最も多く 54.8%、次いで「生活安定への支援」が 51.4%などとなっています。

「やや不満」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 10.7%、次いで「安心して子育てができる環境づくり」が 9.7%などとなっています。

「不満」は「あんしんできる高齢期の生活への支援」が最も多く 5.4%、次いで「犯罪のないまちづくり」が 5.1%などとなっています。

「わからない」は「共に生きる社会の推進」と「生活安定への支援」が最も多く、それぞれ 24.4%、次いで「切れ目のない子育て支援」が 24.1%などとなっています。



③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「満足」は「水の安定供給」が最も多く 16.9%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 13.0% などとなっています。

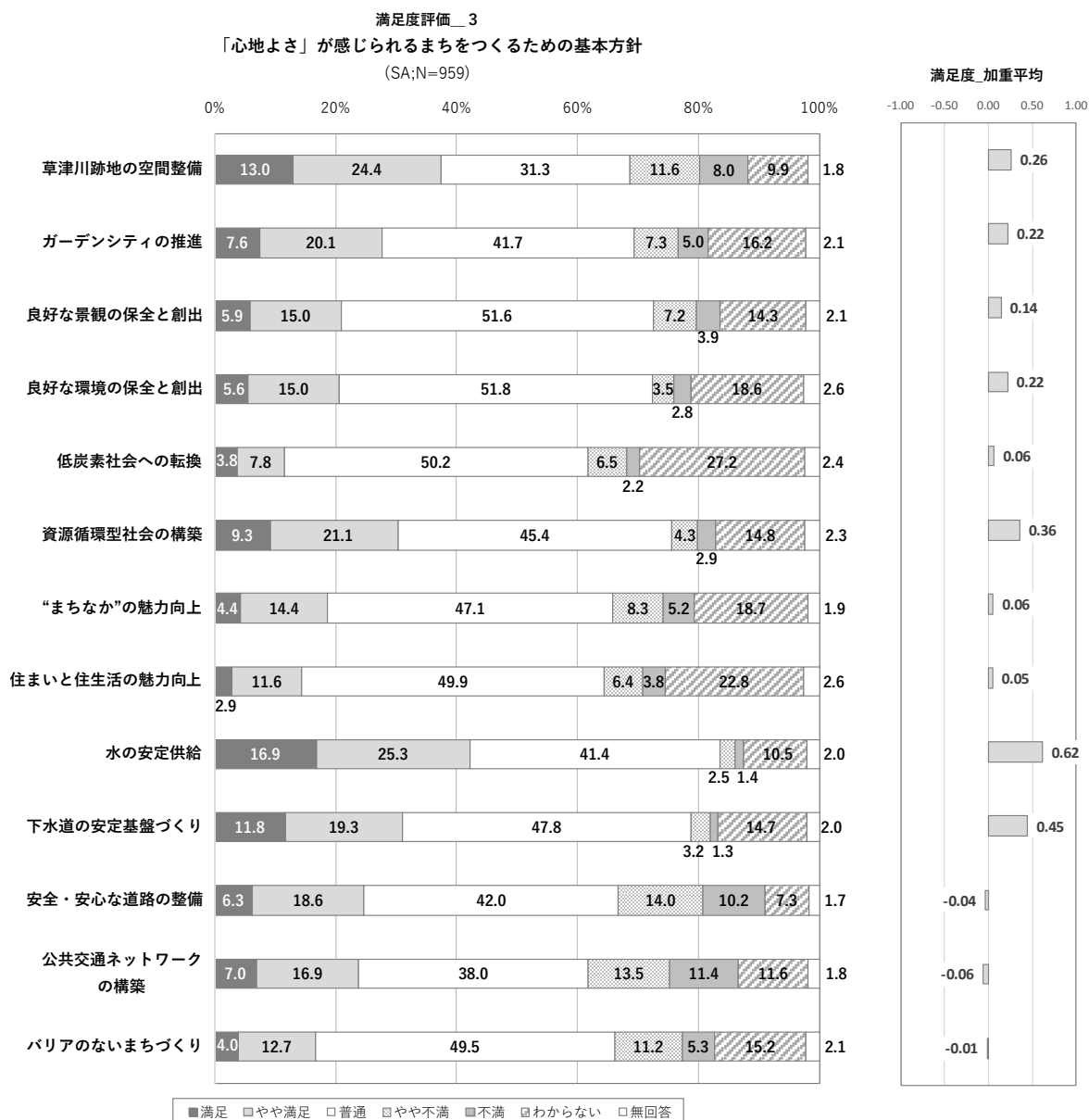
「やや満足」は「水の安定供給」が最も多く 25.3%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 24.4% などとなっています。

「普通」は「良好な環境の保全と創出」が最も多く 51.8%、次いで「良好な景観の保全と創出」が 51.6% などとなっています。

「やや不満」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 14.0%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 13.5% などとなっています。

「不満」は「公共交通ネットワークの構築」が最も多く 11.4%、次いで「安全・安心な道路の整備」が 10.2% などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く 27.2%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」が 22.8% などとなっています。



④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「満足」は「観光の振興」が最も多く 9.3%、次いで「中心市街地の活性化」が 7.8%などとなっています。

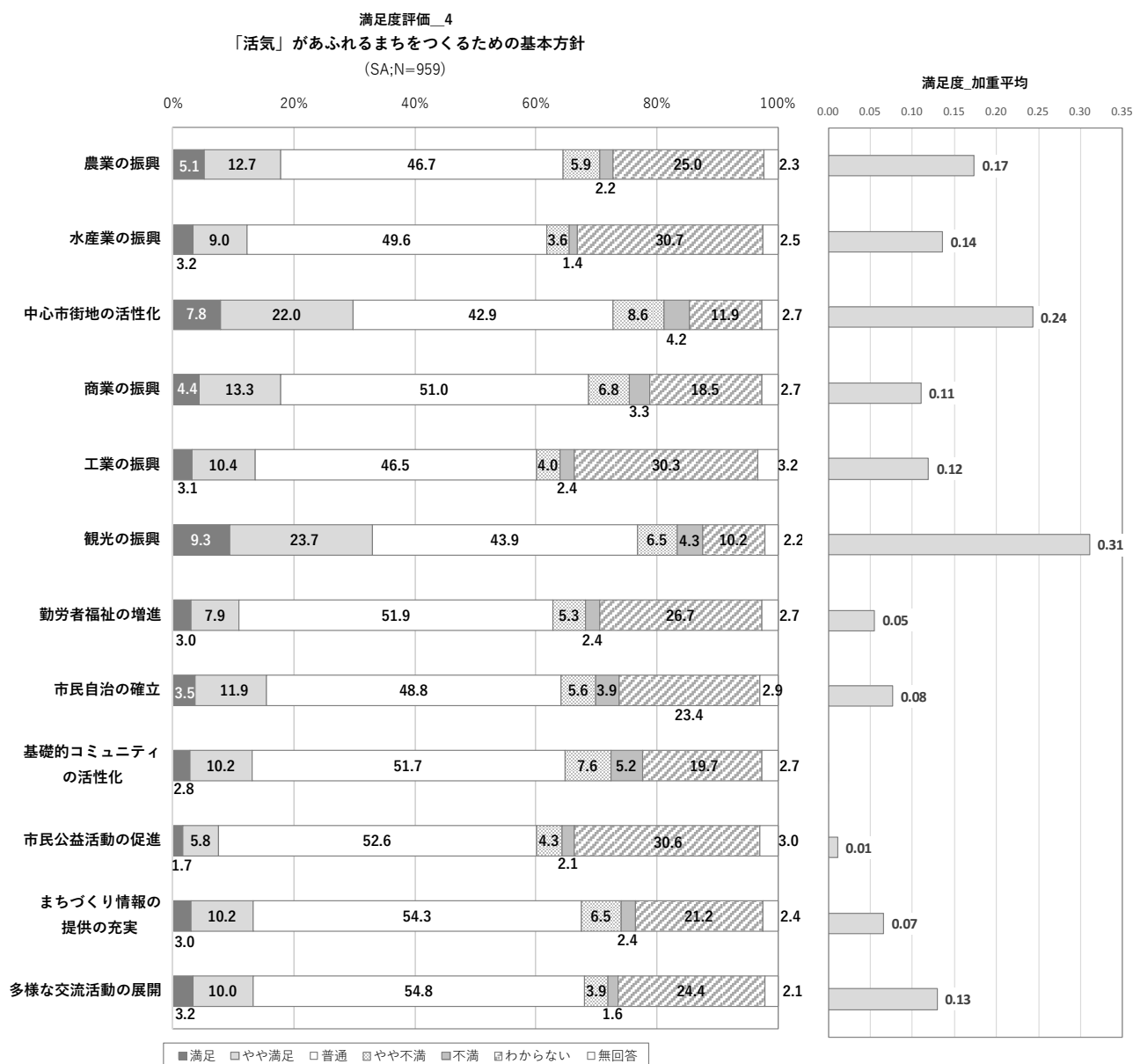
「やや満足」は「観光の振興」が最も多く 23.7%、次いで「中心市街地の活性化」が 22.0%などとなっています。

「普通」は「多様な交流活動の展開」が最も多く 54.8%、次いで「まちづくり情報の提供の充実」が 54.3%などとなっています。

「やや不満」は「中心市街地の活性化」が最も多く 8.6%、次いで「基礎的コミュニティの活性化」が 7.6%などとなっています。

「不満」は「基礎的コミュニティの活性化」が最も多く 5.2%、次いで「観光の振興」が 4.3%などとなっています。

「わからない」は「水産業の振興」が最も多く 30.7%、次いで「市民公益活動の促進」が 30.6%などとなっています。



⑤「行財政マネジメント」のための基本方針

「満足」は「職員力の向上」が最も多く 4.9%などとなっています。

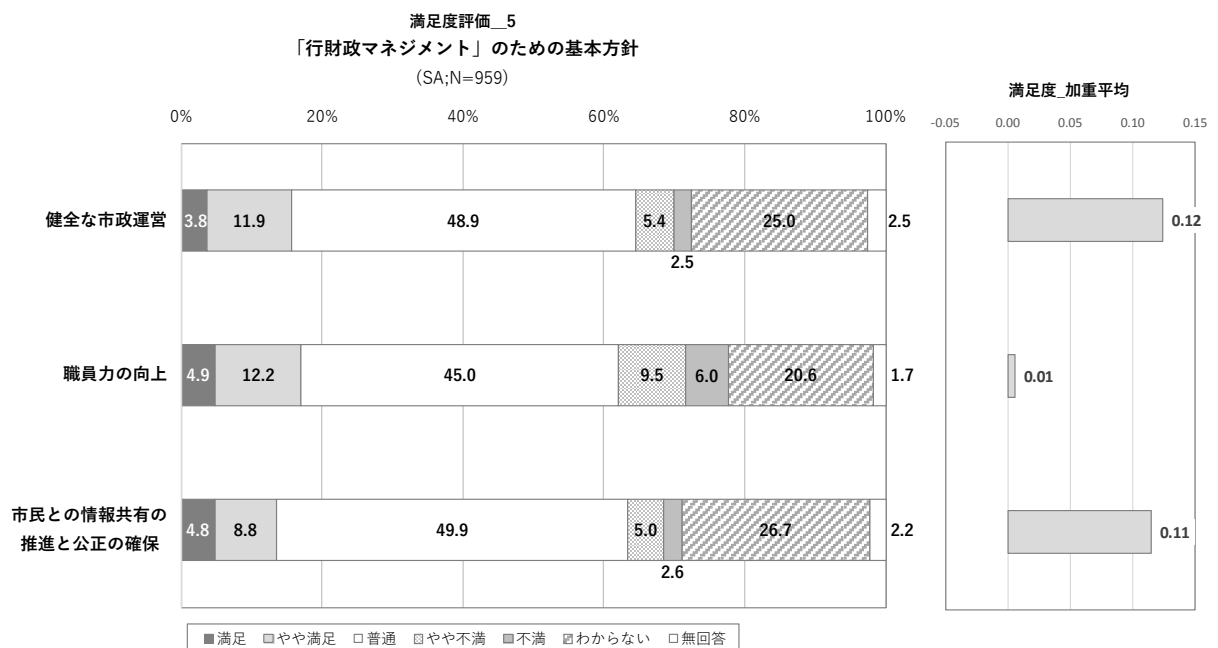
「やや満足」は「職員力の向上」が最も多く 12.2%などとなっています。

「普通」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 49.9%などとなっています。

「やや不満」は「職員力の向上」が最も多く 9.5%などとなっています。

「不満」は「職員力の向上」が最も多く 6.0%などとなっています。

「わからない」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 26.7%などとなっています。



(3) 基本方針別にみる重要度評価

①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「思う」は「子どもの生きる力を育む教育の推進」と「学校の教育力の向上」が最も多く、それぞれ47.4%、次いで「男女共同参画社会の構築」が27.7%などとなっています。

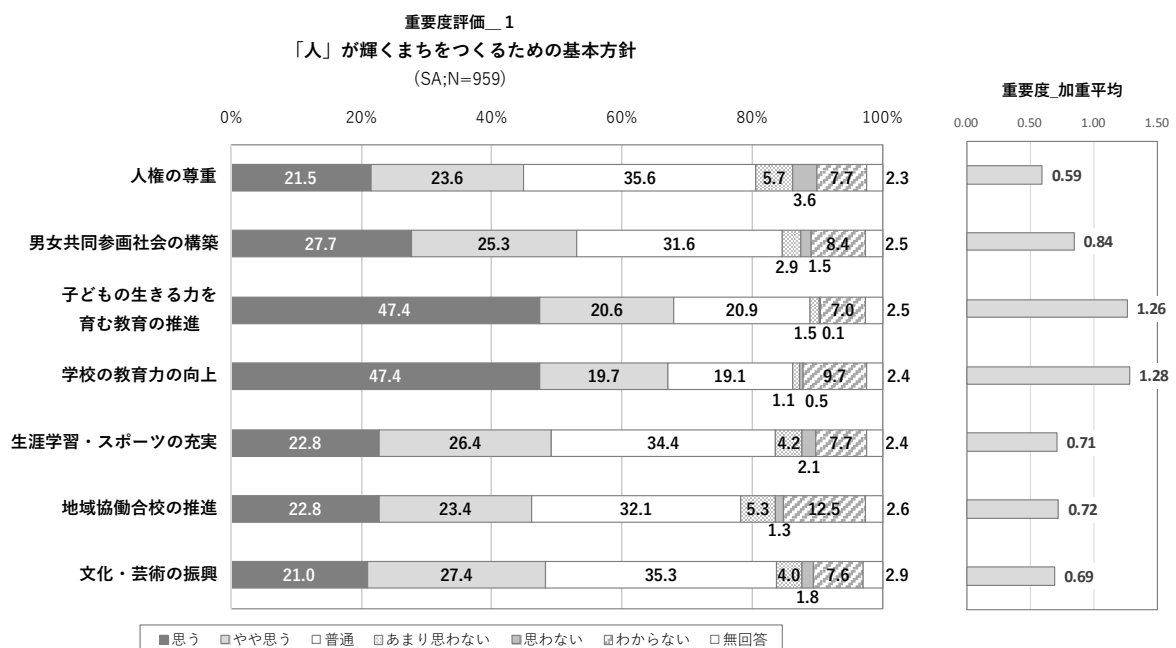
「やや思う」は「文化・芸術の振興」が最も多く27.4%、次いで「生涯学習・スポーツの充実」が26.4%などとなっています。

「普通」は「人権の尊重」が最も多く35.6%、次いで「文化・芸術の振興」が35.3%などとなっています。

「あまり思わない」は「人権の尊重」が最も多く5.7%、次いで「地域協働校の推進」が5.3%などとなっています。

「思わない」は「人権の尊重」が最も多く3.6%、次いで「生涯学習・スポーツの充実」が2.1%などとなっています。

「わからない」は「地域協働校の推進」が最も多く12.5%、次いで「学校の教育力の向上」が9.7%などとなっています。



加重平均について：「思う (2)」「やや思う (1)」「普通 (0)」「あまり思わない (-1)」「思わない (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「思う」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 54.1%、次いで「就学前教育・保育の充実」と「あんしんできる高齢期の生活への支援」がそれぞれ 46.6%などとなっています。

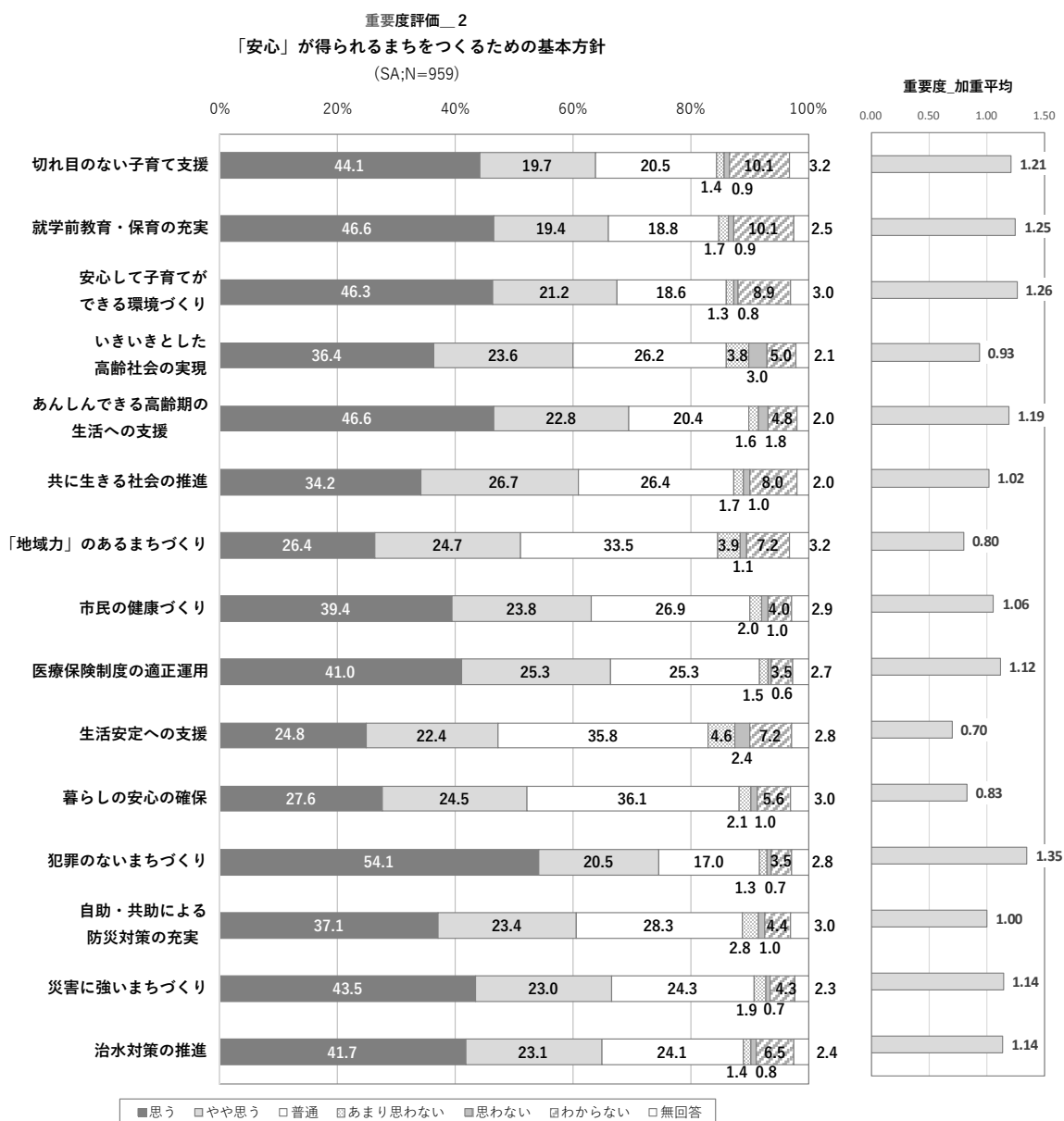
「やや思う」は「共に生きる社会の推進」が最も多く 26.7%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 25.3%などとなっています。

「普通」は「暮らしの安心の確保」が最も多く 36.1%、次いで「生活安定への支援」と「暮らしの安心の確保」がそれぞれ 35.8%などとなっています。

「あまり思わない」は「生活安定への支援」が最も多く 4.6%、次いで『「地域力」のあるまちづくり』が 3.9%などとなっています。

「思わない」は「いきいきとした高齢社会の実現」が最も多く 3.0%、次いで「生活安定への支援」が 2.4%などとなっています。

「わからない」は「切れ目のない子育て支援」と「就学前教育・保育の充実」が最も多く 10.1%、次いで「安心して子育てができる環境づくり」が 8.9%などとなっています。



③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「思う」は「水の安定供給」が最も多く 44.7%、次いで「安全・安心な道路の整備」が 44.7% などとなっています。

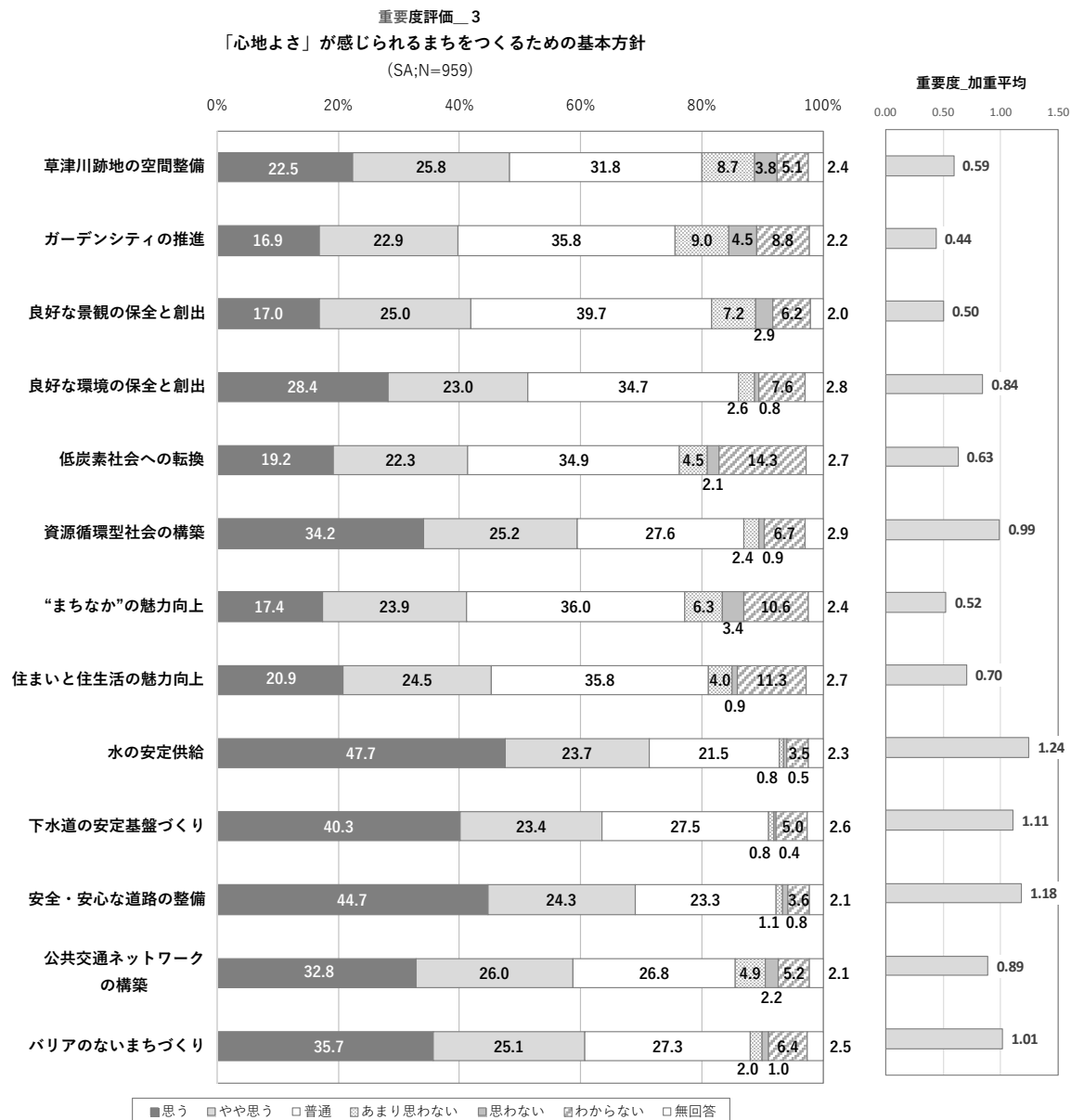
「やや思う」は「公共交通ネットワークの構築」が最も多く 26.0%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 25.8% などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く 39.7%、次いで「“まちなか”の魅力向上」が 36.0% などとなっています。

「あまり思わない」は「ガーデンシティの推進」が最も多く 9.0%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 8.7% などとなっています。

「思わない」は「ガーデンシティの推進」が最も多く 4.5%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 3.8% などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く 14.3%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」が 11.3% などとなっています。



④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「思う」は「観光の振興」が最も多く 26.9%、次いで「農業の振興」が 23.1%などとなっています。

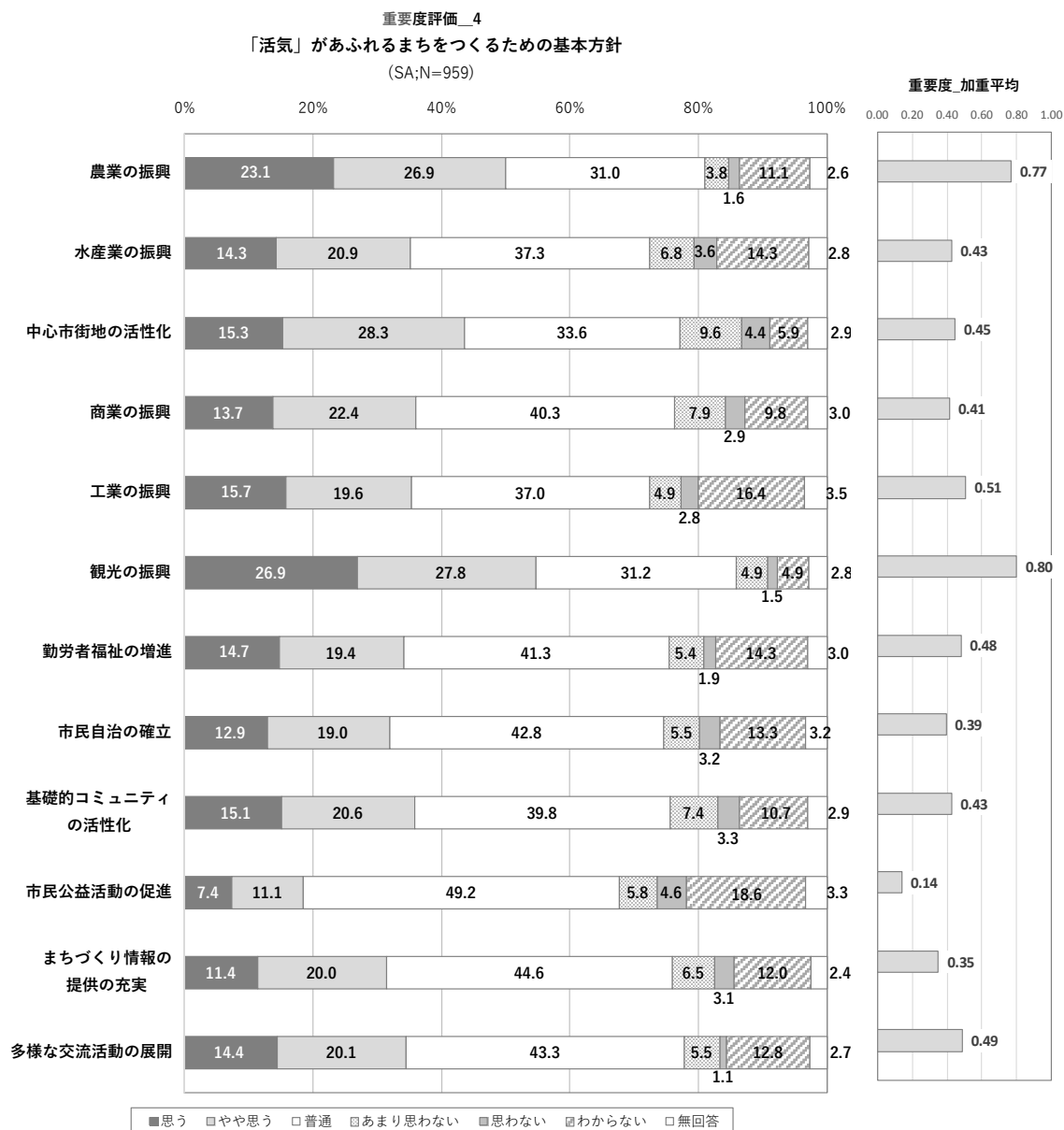
「やや思う」は「中心市街地の活性化」が最も多く 28.3%、次いで「観光の振興」が 27.8%などとなっています。

「普通」は「市民公益活動の促進」が最も多く 49.2%、次いで「まちづくり情報の提供の充実」が 44.6%などとなっています。

「あまり思わない」は「中心市街地の活性化」が最も多く 9.6%、次いで「商業の振興」が 7.9%などとなっています。

「思わない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 4.6%、次いで「中心市街地の活性化」が 4.4%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 18.6%、次いで「工業の振興」が 16.4%などとなっています。



⑤「行財政マネジメント」のための基本方針

「思う」は「職員力の向上」が最も多く 32.2%などとなっています。

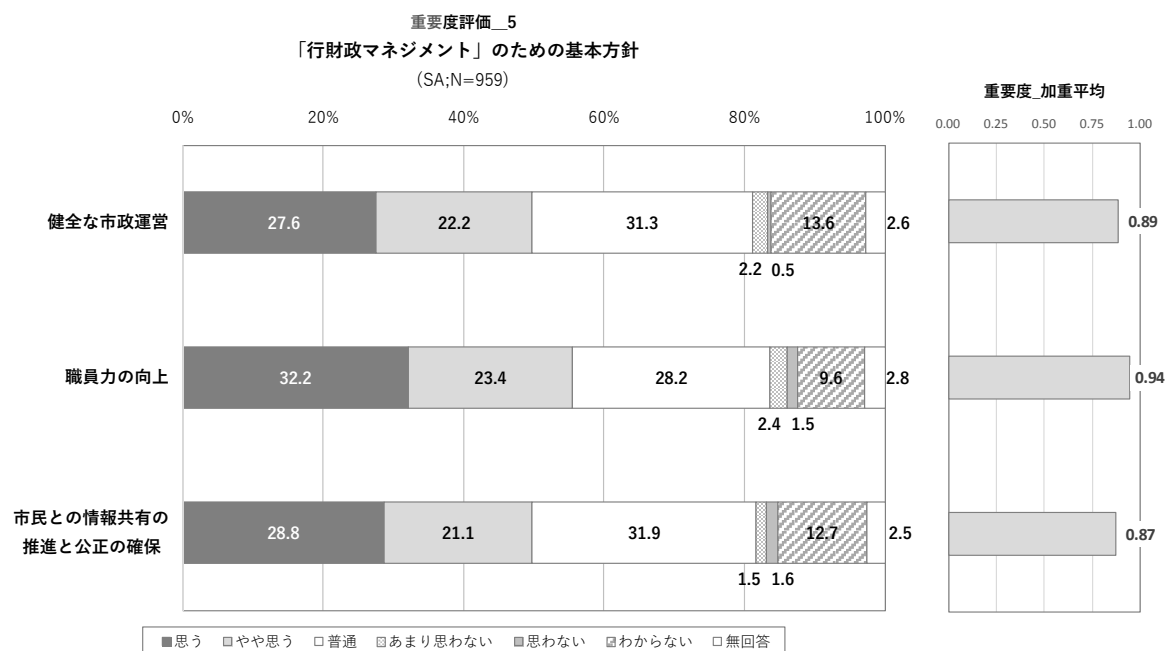
「やや思う」は「職員力の向上」が最も多く 23.4%などとなっています。

「普通」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 31.9%などとなっています。

「あまり思わない」は「職員力の向上」が最も多く 2.4%などとなっています。

「思わない」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 1.6%などとなっています。

「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く 13.6%などとなっています。

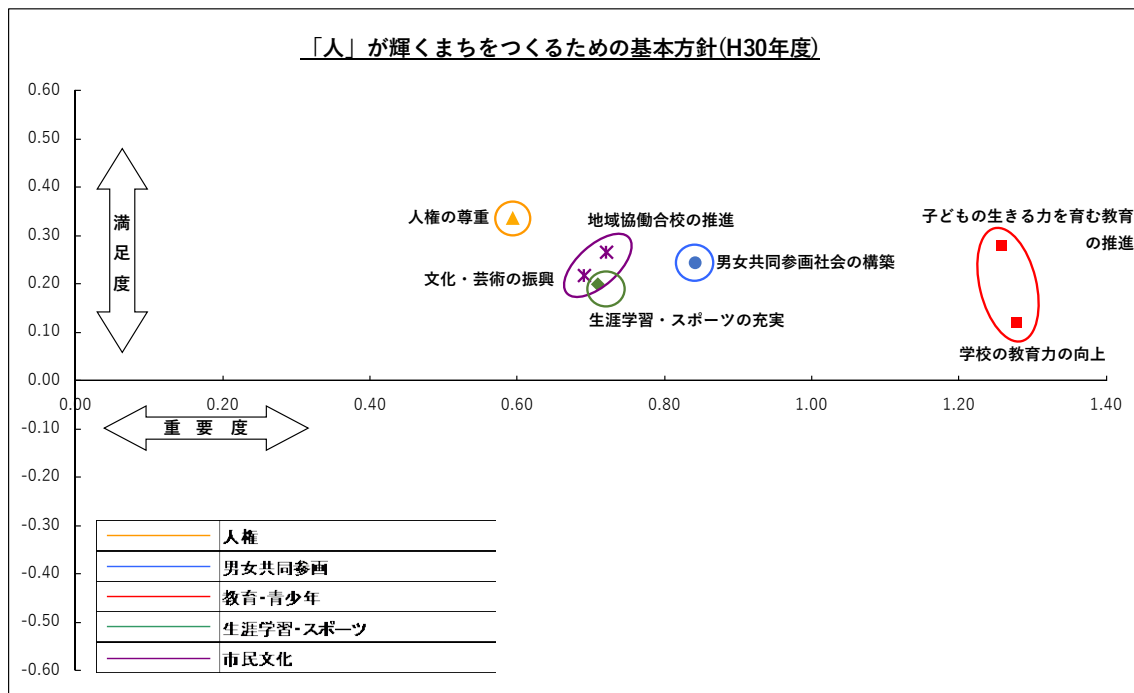


(4) 基本方針別にみる満足度と重要度

①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「人」が輝くまちをつくるための基本方針のうち、「教育・青少年」の分野は他の分野と比較し、重要度が高く、「人権」の分野は満足度が高くなっています。

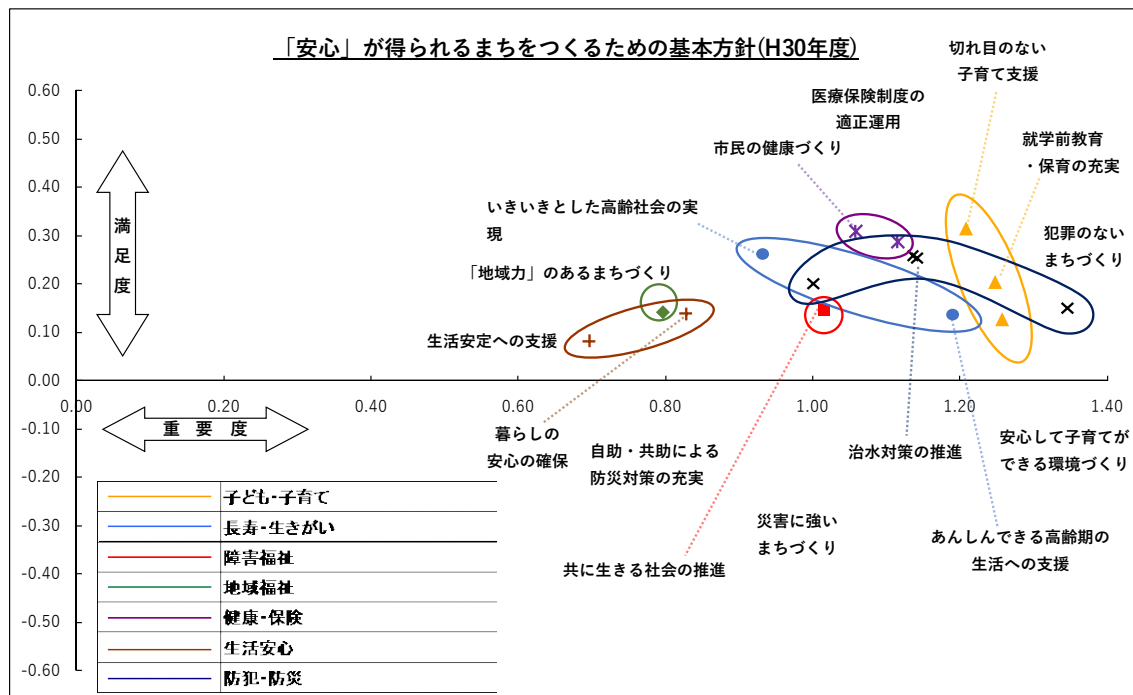
また「学校の教育力の向上」の基本方針は、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.17、重要度 0.82）と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「子ども・子育て」の分野では、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.17、重要度 0.82）と比較して満足度・重要度ともに高くなっているのに対し、「安心して子育てができる環境づくり」の基本方針は満足度が低く、重要度が高くなっています。

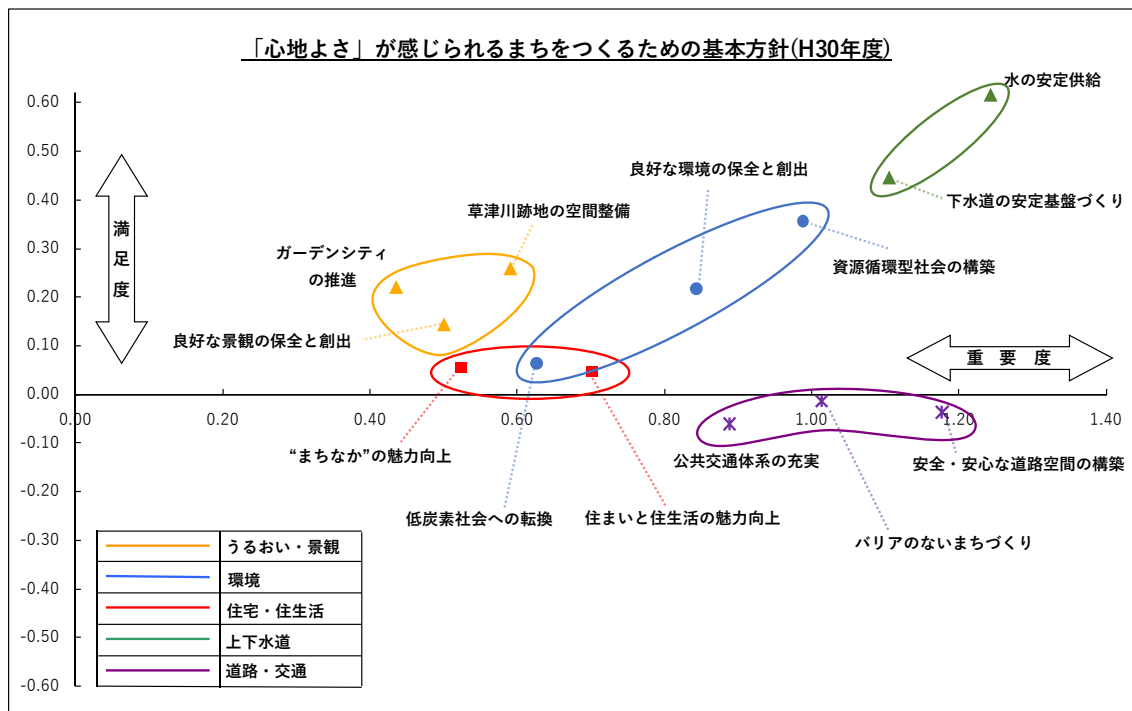
「健康・保険」の分野はいずれも満足度が高くなっていますが、「生活安定への支援」の基本方針は満足度・重要度ともに低くなっています。



③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

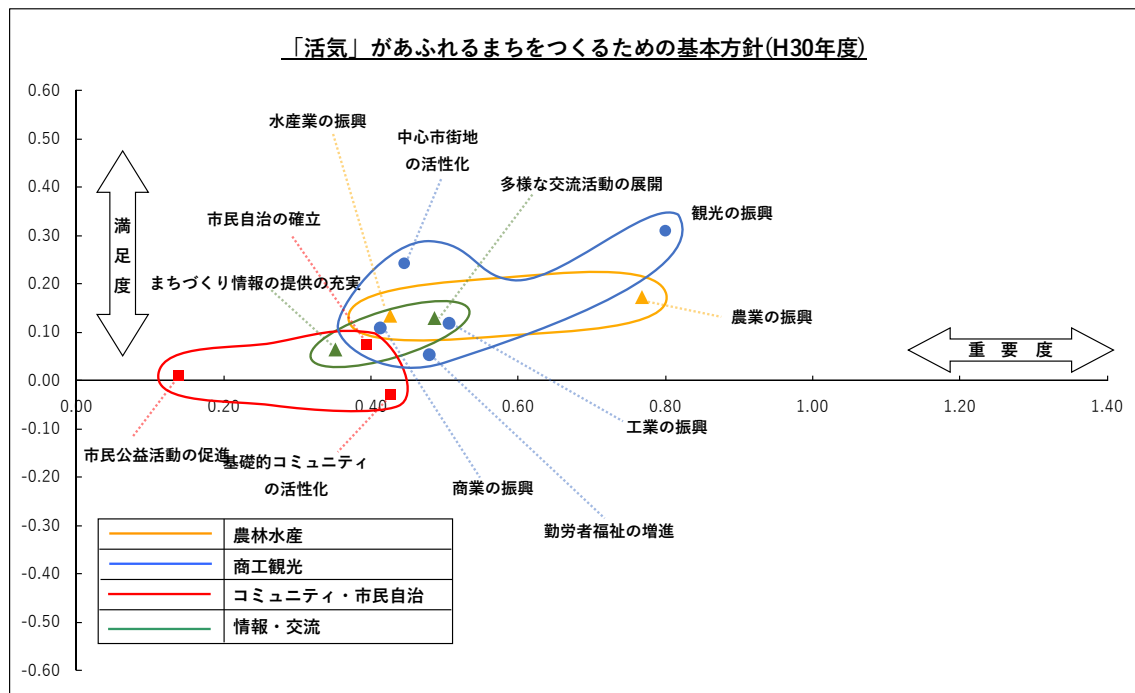
「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針のうち、「上下水道」の分野は満足度・重要度ともに他の分野よりも高くなっています。

一方「道路・交通」の分野は、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.17、重要度 0.82）と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



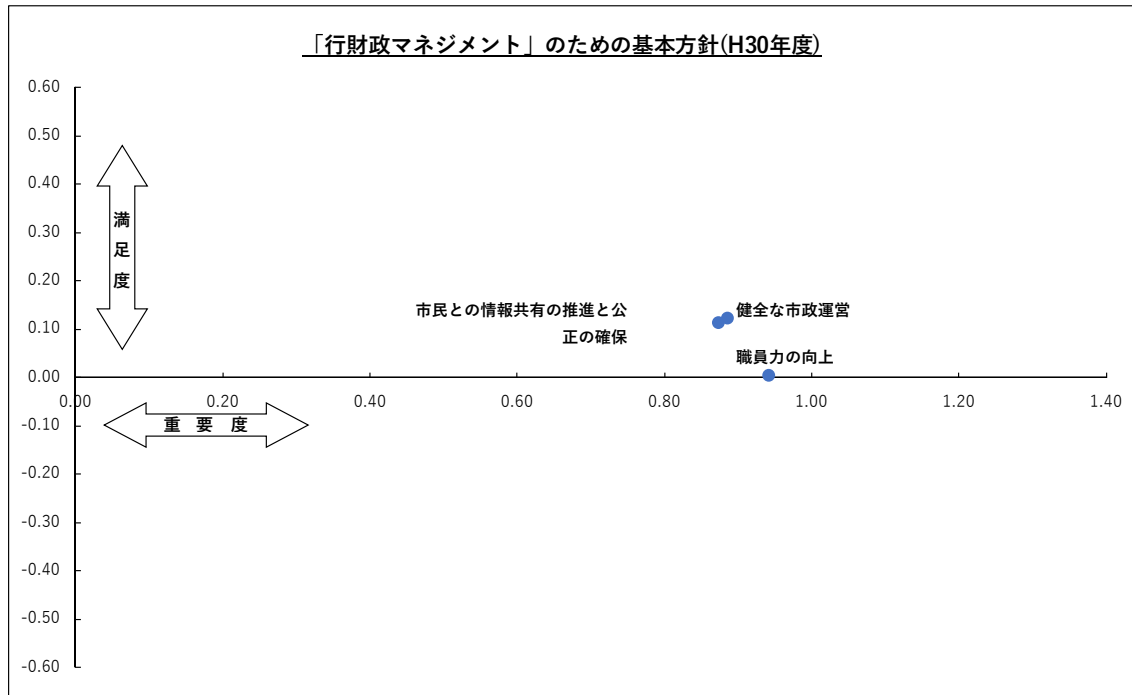
④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「活気」があふれるまちをつくるための基本方針は、どの分野においても全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.17、重要度 0.82）と比較して満足度、重要度ともに平均値を下回るものが多くなっています。



⑤「行財政マネジメント」のための基本方針

全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.17、重要度 0.82）と比較して「行財政マネジメント」のための基本方針は、満足度が低く、重要度が高くなっています。



(5) まちの住み心地や日常の生活行動など

①まちの住み心地など

「そう思う」は「買い物をする環境が整っている」が最も多く 29.3%、次いで「総合的に住みやすいまちである」が 27.7%などとなっています。

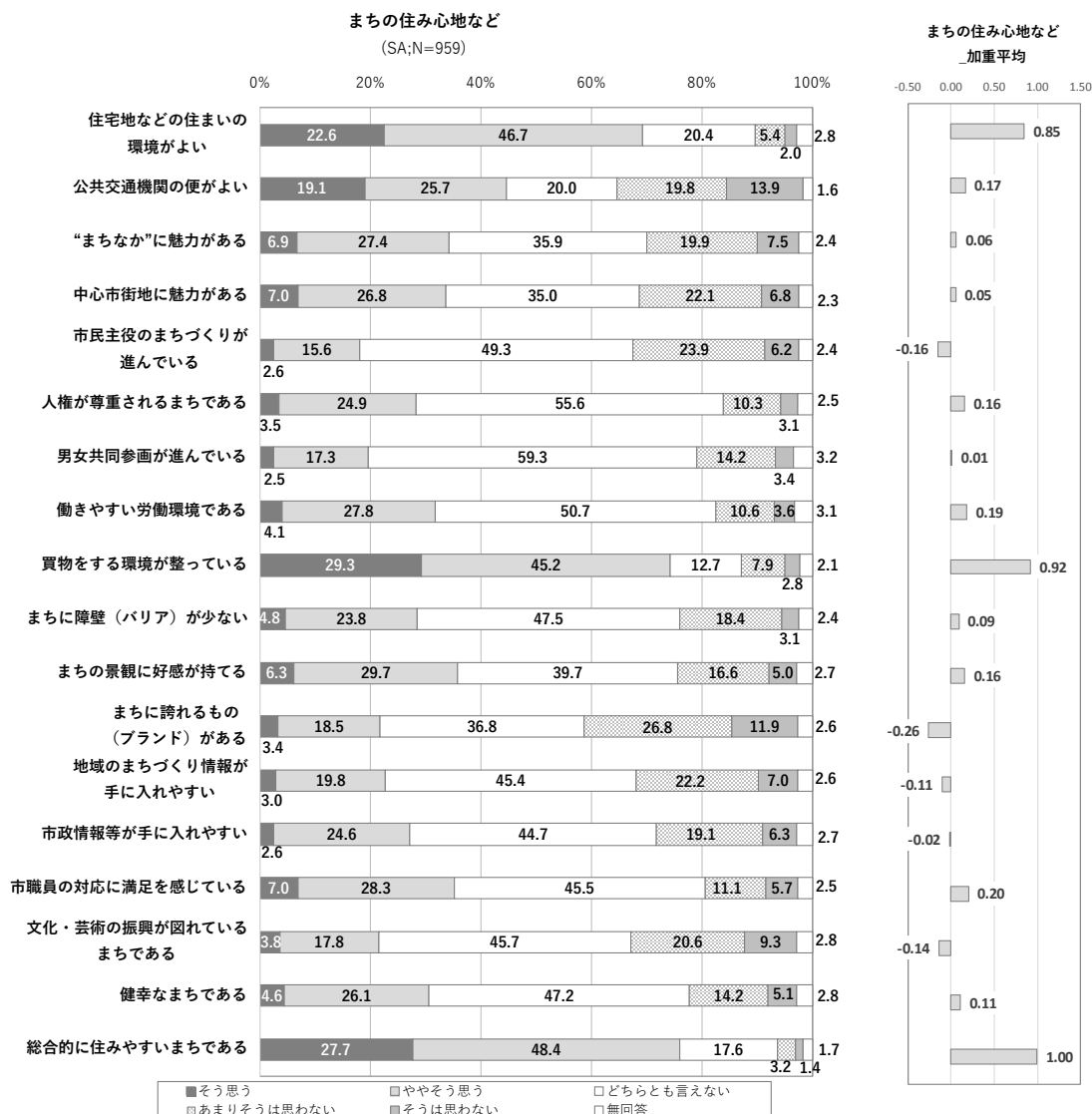
「ややそう思う」は「総合的に住みやすいまちである」が最も多く 48.4%、次いで「住宅地などの住まいの環境がよい」が 46.7%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「男女共同参画が進んでいる」が最も多く 59.3%、次いで「人権が尊重されるまちである」が 55.6%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 26.8%、次いで「公共交通機関の便がよい」と「市民主役のまちづくりが進んでいる」がそれぞれ 23.9%などとなっています。

「そうは思わない」は「公共交通機関の便がよい」が最も多く 13.9%、次いで「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が 11.9%などとなっています。

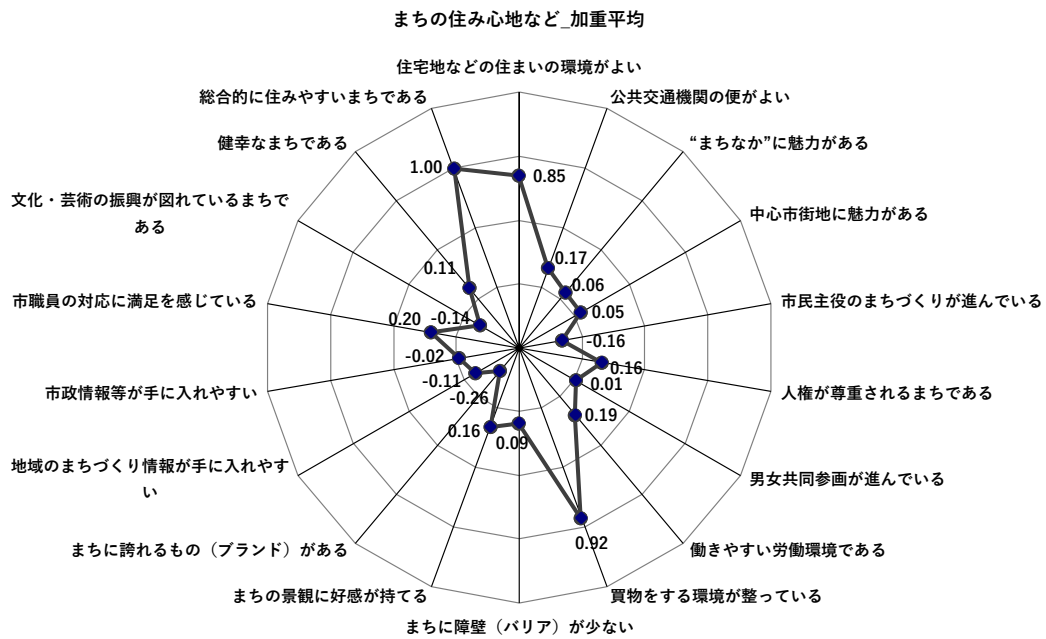
「総合的に住みやすいまちである」については、「ややそう思う」が最も多く 48.4%、次いで「そう思う」が 27.7%などとなっています。



【加重平均】

「総合的に住みやすいまちである」「買物をする環境が整っている」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっています。

「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「市民主役のまちづくりが進んでいる」「文化・芸術の振興が図れているまちである」においては評価が低くなっています。



加重平均について：「そう思う（2）」「ややそう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそうは思わない（-1）」「そうは思わない（-2）」として全体の平均値を算出したものである。

②日常の生活行動など

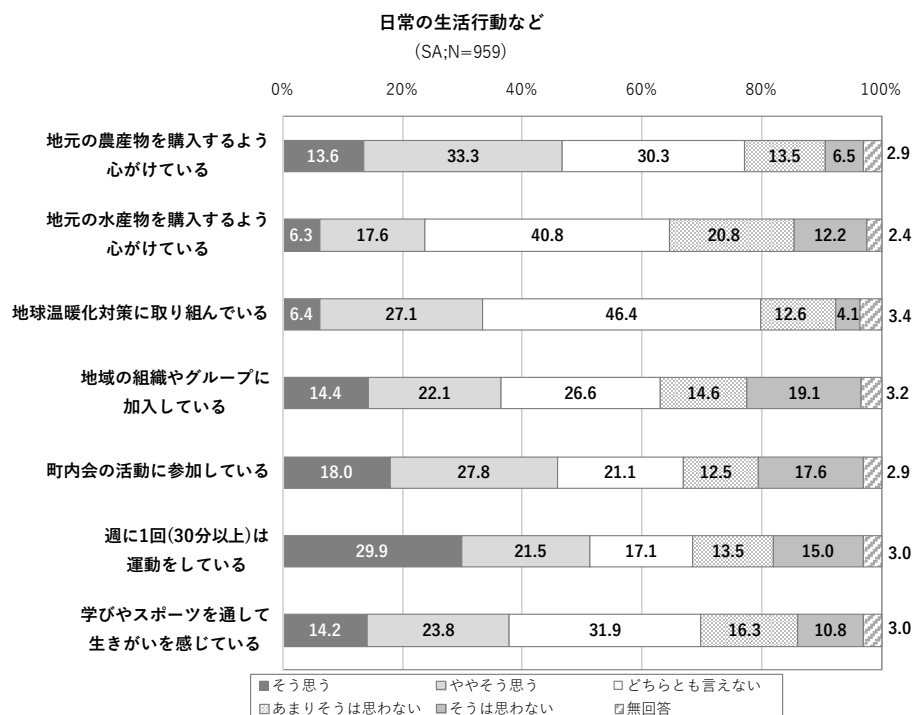
「そう思う」は「週に1回(30分以上)は運動をしている」が最も多く 29.9%、次いで「町内会の活動に参加している」が 18.0%などとなっています。

「ややそう思う」は「地元の農産物を購入するよう心がけている」が最も多く 33.3%、次いで「町内会の活動に参加している」が 27.8%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地球温暖化対策に取り組んでいる」が最も多く 46.4%、次いで「地元の農産物を購入するよう心がけている」が 40.8%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「地元の水産物を購入するよう心がけている」が最も多く 20.8%、次いで「学びやスポーツを通して生きがいを感じている」が 16.3%などとなっています。

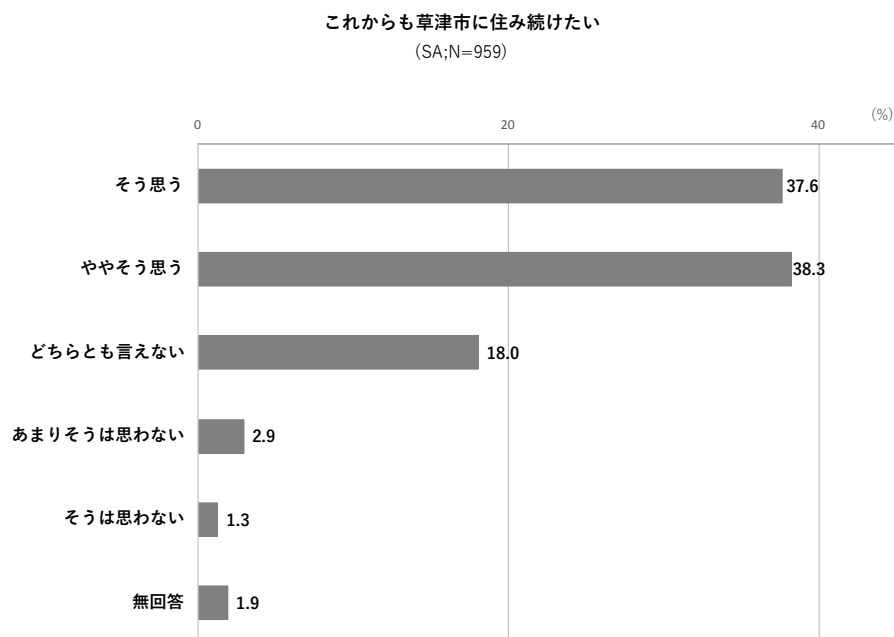
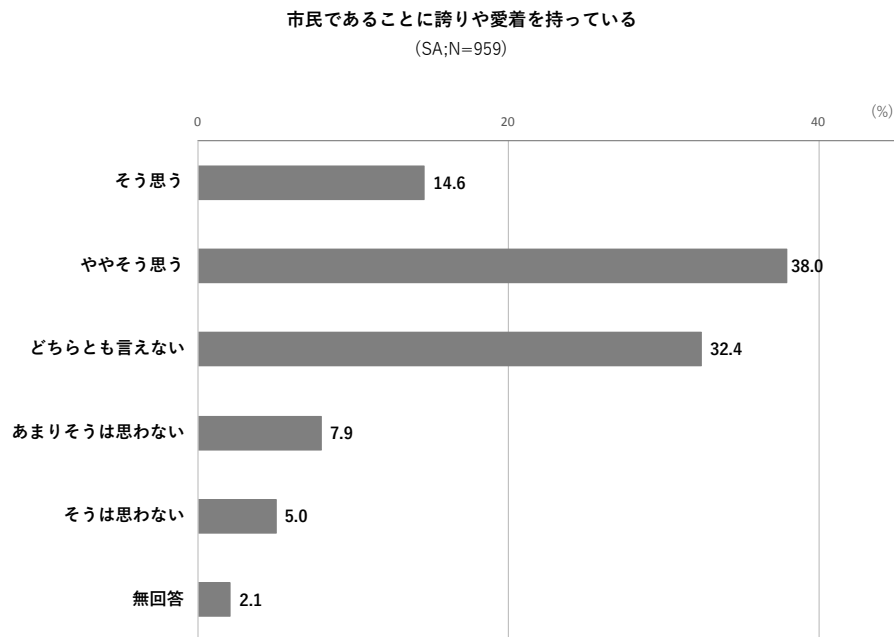
「そうは思わない」は「地域の組織やグループに加入している」が最も多く 19.1%、次いで「町内会の活動に参加している」が 17.6%などとなっています。



③市民であることの誇りや定住意向

「市民であることに誇りや愛着を持っている」については、「ややそう思う」が最も多く 38.0%、次いで「どちらとも言えない」が 32.4%などとなっています。

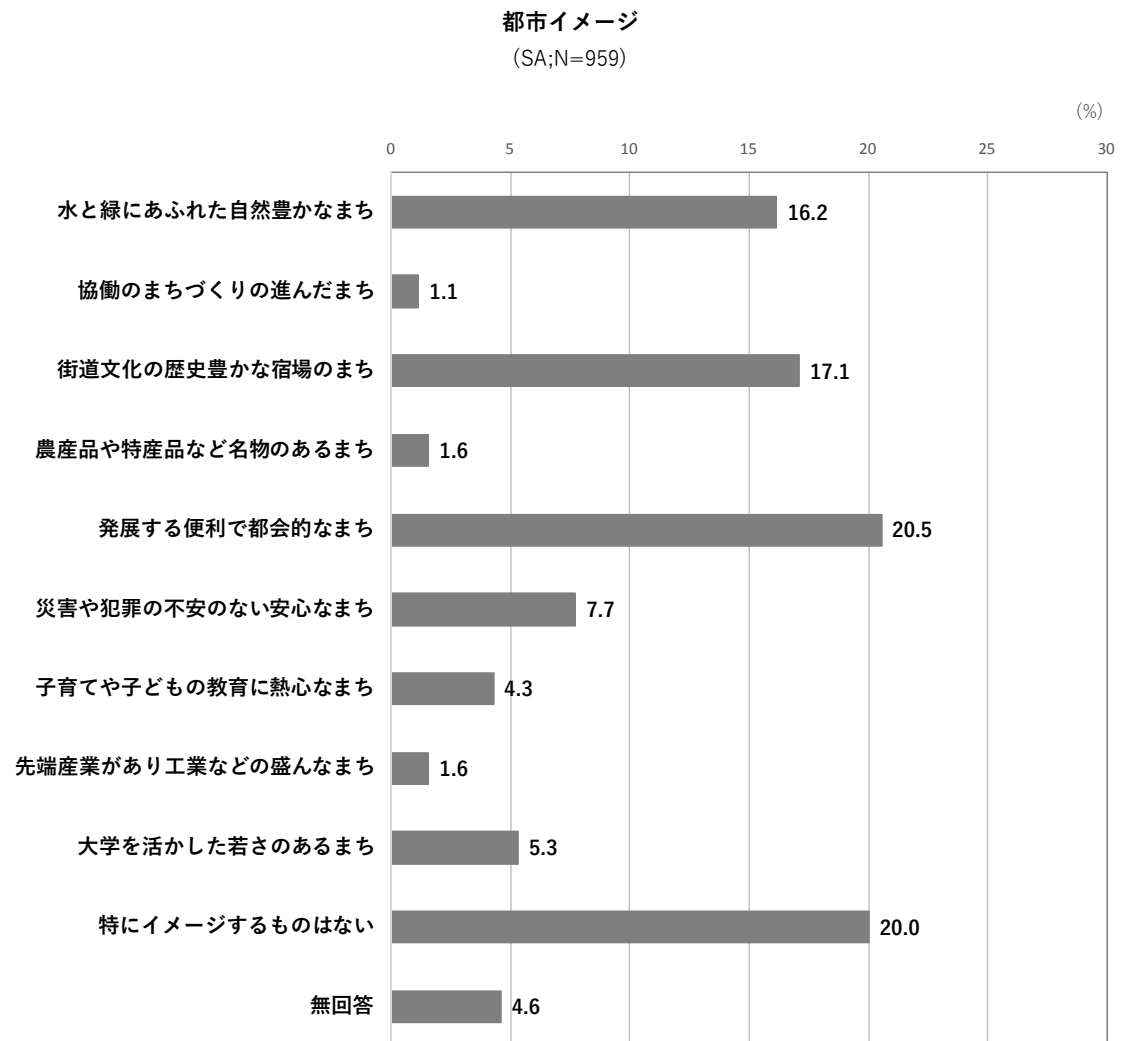
「これからも草津市に住み続けたい」については、「ややそう思う」が最も多く 38.3%、次いで「そう思う」が 37.6%などとなっています。



（６）草津市のイメージ

①都市イメージ

「発展する便利で都会的なまち」が最も多く 20.5%、次いで「特にイメージするものはない」が 20.0%、「街道文化の歴史豊かな宿場のまち」が 17.1%などとなっています。



②地域資源

「烏丸半島など琵琶湖畔」が最も多く 16.3%、次いで「イナズマロックフェス」が 15.1%、「無回答」が 11.6%などとなっています。

